

満開!!

北九州で活躍中の
シニアサークル
紹介コーナー

シニアライフ

【れんげ野短歌会】 no.37

日々の暮らし、出来事、湧き上がる心の機微を短歌に詠む。人それぞれの歌に喜び、悲哀、感慨がこもり、詠む人を引きつける。月2回、小倉北区内で催す「れんげ野短歌会」は、前身の組織「茜(あかね)短歌会」発足年から数えて本年がちょうど30年。毎回、会員が出し合った作品を全員で鑑賞、批評しあい、心を分かち合う。その楽しみは今も尽きません。



主宰者
しのみや
四宮 修さん(82歳)



25年前「赤い鳥」という童謡唱歌の会の仲間と「歌うだけでなく自分たちでも作ろうよ」と茜短歌会に入ったのが始まり。「夕闇の白木蓮はほのぼのと己が光に つつまれて咲く」(NHK歌壇初入選作)。日常のちよつとした事、心、思いを言葉で表現する面白さに魅かれています。歌は誰でも、どこでも作れる、金も不要。楽しいですよ。

松本 寿代さん(75歳)

七年前に友人に誘われ入会。短歌を始めたことで、今まで自分が気づかなかった物事を深く観察するようになり、感動したり微妙な趣や機微が感じられるようになり感謝しています。未だ短歌を作るには苦勞していますが、会員の方々の経験豊かなお話を聞くことで、楽しんで短歌を作っていこうと思います。



吉田 みよ子さん(67歳)



定年退職を機に短歌会の人から誘われ入会。言葉の美しさ、使い方次第で変わる言葉の面白さを感じています。また、言葉の意味を深く知ると共に、周囲のことを興味深く見、考えるようになり、自分自身の成長にもつながっています。月2回の例会や春夏秋冬の食事会等が楽しみです、目的があることで生活に張り合いがあります。

れんげ野短歌会

活動場所／第一小倉商工会館
(小倉北区魚町)

活動日／毎月第1・3土曜日
14:00~17:00

会員／17名

活動方針／短歌を作るという創作活動。意見を他人と交わすコミュニケーション。楽しい雑談も含め、人と交わることで若さを守り健康促進。頭の老化を防ぐ。